※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの発展的な内容を学習します。文字を素材とした作品制作や作品の鑑賞活動を中心とし、自身の構想をもとに様々な表現を身に付けましょう。
・五書体を学ぶことでより豊かな表現力を培い、制作に生かしましょう。
・書の幅広い創造的活動を通して、書の様々な分野についての理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・授業の受け方について ・道具・持ち物の確認 ・「書道Ⅰ」との内容の違いについて ・教科書を見ながら１年間の授業の見通しを説明する。	c：書道Ⅱの学習内容に関心を持ち、書道Ⅰの内容を生かしながらさらに発展的な内容に取り組もうとする姿勢がうかがえる。			授業態度 振り返りシート
	漢字の書	【篆書の学習】 ・篆書の成立と変遷 ・甲骨文・金文 ・大篆・小篆 「石鼓文」「泰山刻石」	a：それぞれの書風を捉え、工夫して表現している。 臨書を通して、篆書の特徴を捉え、基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解している。 b：それぞれの書を分析し、隷書の多彩な美を感じ取っている。 c：篆書の成立と表現技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。 篆書それぞれの書を分析し、その美を感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	篆刻	【姓名印の制作】 ・検字 ・印稿作成 ・布字 ・運刀、補刀 ・押印	a：書体や書風、配字による表現の効果を理解し、感興や意図に応じて構想を練っている。 b：篆刻に関心を持ち、制作に主体的に取り組んでいる。 c：篆刻に必要な技能を習得し、個性的に表現している。 互いに作品を鑑賞し合い、構成や技能の良い点を認め合っている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
2学期	漢字の書	【隷書の学習】 ・隷書の成立と種類 ・「乙瑛碑」 ・「曹全碑」 ・「木簡」	a：隷書のそれぞれの書風を捉え、工夫して表現している。 隷書の線質、字形、全体構成など、表現の技能を習得している。 b：それぞれの書を分析し、隷書の多彩な美を感じ取っている。 c：隷書の成立と表現技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	刻字	【刻字作品の制作】 ・文字の選定 ・文字調べ、草稿作成 ・草稿の転写 ・陽刻と陰刻 ・着色	a: 刻字制作の手順を理解し、運刀や彩色に関する知識や技能を習得している。 b: 刻字が使われる場所を想定し、表現効果を考慮して原稿を書いている。 c: 刻字に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる 街中の刻字を鑑賞し、刻字が身近な環境や文化の中で活用されていることに気付く。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
	漢字の書	【草書の学習】 ・草書の成立と種類 ・「書譜」 ・「十七帖」 ・「忽恵帖」	a: それぞれの書風を捉え、工夫して表現している。 草書の線質、字形、全体構成など、表現の技能を習得している。 b：それぞれの書を分析し、草書の多様な美を感じ取っている。 c: 草書それぞれの表現技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 提出作品	制作の様子 ワークシート 振り返りシート
３学期	漢字仮名交じりの書	・語句の選定 ・文字調べ ・草稿作成 ・作品制作 ・鑑賞	a: 字形や文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、創造的に表現を工夫している。 文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた効果的な表現の技能を身につけている。 c: 漢字と仮名の文字や字形に関心を持ち、自らの構造に基づいて、主体的に取り組もうとしている。 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じとっている。	制作の様子 ワークシート 提出作品		制作の様子 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度